



小山やトンネルも設けられた“ドッグラン”



「釈迦内本郷会は旧釈迦内村当時の本村6町内で組織しています。犬都記念公園管理運営協会は、その下部組織です」と会長木村昭一郎さん。

管理運営していくことになりました。“ドッグラン”とは、柵で囲った中で犬を放して遊ばせることができる施設。会場には、すでにおそろいのジャンパーを着た人々とワンちゃんが何匹も。開園式はこれからかな? 「先ほど終わりました」と釈迦内本郷会会長の木村昭一郎さん(中通)。アレレ、ウーム遅れをとってしまったか。準備が早くでき、予定より早く始めたとのこと。「開園式は、実は当初4月13日を予定していたが、芝の状態などが悪く、今日まで延びてしまった」なんだそう。雪がしばらく残っていたのも影響したみたい。きょうは時々ポツリと



歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「釈迦内地区」“ドッグラン”
H18. 5.13取材



田んぼに水が入り、農作業姿の人たちが見られるようになってきました。今回は、本日オープンとなる“ドッグラン”での「あつてグッド」。どんなワンちゃんたちに出会えるのやら、いざ出発!

“ドッグラン”は、釈迦内公民館北側に昨年秋に完成し、冬までの間、施設を体験してもらうため無料開放されましたが、今年からは有料で、市と釈迦内本郷会と共同で

雨がこぼれる曇り空。しかも肌寒いせいもあつてか利用者が少ない幕開けとなつたようです。そんな訳で、園内に犬を連れた人たちも客は少なく、ほとんどがおそろいのジャンパー姿の会員の皆さん。「このジャンパーは、犬都記念公園管理運営協会です。会員は20人です」とは、協会会長の木村定雄さん(日景町2区)。木村定雄さん自身2匹の柴犬を連れての参加。お二人とも木村の姓? 釈迦内地区には木村姓が多いナ!

ひときわ元気いっぱい走り回っているのは、一目で外国産と分かる黒い犬。カメラを向けると、知ってか知らずか決めポーズを取ってくれ、集まった人たちの人気者。飼い主は協会会員



「我々犬都記念公園運営協会がボランティアで施設の管理をしています」と協会会長の木村定雄さん。



おそろいのジャンパー